



# 機能、テンプレート、サービス、 およびユーザの設定

---

Cisco Unified IP Phone をネットワークに設置し、ネットワークの設定値を設定して、IP Phone を Cisco Unified Communications Manager に追加した後は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、コミュニケーション機能を設定する必要があります。必要に応じて、電話テンプレートの修正、サービスのセットアップ、ユーザの割り当ても行います。

この章では、これらの設定およびセットアップについて、手順の概要を示します。これらの手順の詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアルを参照してください。

機能に関する情報をユーザに提供する方法、および提供する内容に関する推奨事項については、[付録 A 「ユーザへの情報提供」](#) を参照してください。

英語以外の環境での電話機のセットアップについては、[付録 C 「各言語ユーザのサポート」](#) を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco Unified IP Phone](#) で使用可能なテレフォニー機能 (P.5-2)
- 社内ディレクトリとパーソナルディレクトリの設定 (P.5-21)
- 電話ボタンテンプレートの変更 (P.5-23)
- ソフトキーテンプレートの設定 (P.5-24)
- サービスのセットアップ (P.5-25)
- [Cisco Unified Communications Manager](#) へのユーザの追加 (P.5-26)

- [ユーザ オプション Web ページの管理 \(P.5-27\)](#)

## Cisco Unified IP Phone で使用可能なテレフォニー機能

Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified Communications Manager に追加した後、電話機に機能を追加できます。表 5-1 に、サポートされているテレフォニー機能のリストを示します。これらの多くは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して設定できます。この表の「設定の参照先」欄は、設定の手順と関連情報が記載された Cisco Unified Communications Manager マニュアルを示しています。

これらのほとんどの機能に関する、電話機での使用方法の詳細については、『Cisco Unified IP Phones 7906G/7911G 電話ガイド』を参照してください。



(注)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページには、各種のテレフォニー機能を設定するためのサービス パラメータもいくつかあります。サービス パラメータおよびそれらが制御する機能の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能

機能	説明	設定の参照先
固定短縮ダイヤル機能	<p>ユーザは、短縮ダイヤル エントリを 99 個まで設定できます。電話機の短縮ダイヤル ボタンに割り当てない短縮ダイヤル エントリは、固定短縮ダイヤル機能に使用されます。ユーザが番号のダイヤルを開始すると、<b>[短縮]</b> ソフトキーが表示され、適切なインデックスを入力することで任意の短縮ダイヤル エントリにアクセスできます。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> </ul>
オーディオ メッセージ受信インジケータ	<p>ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから聞こえるスタッター音により、ユーザが回線で新しいボイスメッセージを 1 つ以上受信したことが示されます。</p> <p> <b>(注)</b> スタッター音は回線によって異なります。この音が聞こえるのは、使用中の回線でメッセージを受信した場合のみです。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「メッセージ受信の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」の章</li> </ul>
自動応答	<p>着信コールを受信したときに、スピーカフォンを自動的にオフフックにします。ユーザは、スピーカを使用してコールをモニタできますが、発信者と話す場合はハンドセットを取り上げる必要があります。</p>	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
割り込み	<p>ユーザは、シェアドライン上で進行中のコールに参加できます。電話機は、割り込みを次の2つの会議モードでサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲット デバイス（割り込まれる側の電話機）の組み込み会議ブリッジ。このモードでは、<b>[割り込み]</b> ソフトキーを使用します。</li> <li>共有会議ブリッジ。このモードでは、<b>[C 割込]</b> ソフトキーを使用します。</li> </ul>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager システムガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i>』の「割り込みとプライバシー」の章</li> </ul>
外線から外線への転送のブロック	<p>外線コールをユーザが別の外線コールに転送することを禁止します。</p>	<p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i>』の「External Call Transfer Restrictions 機能」の章を参照してください。</p>
コール表示の制限	<p>発信回線および接続回線について表示する情報を、コールに関係する通話相手に応じて決定します。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager システムガイド</i>』の「ルートプランの概要」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i>』の「Call Display Restrictions 機能」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
コール転送	ユーザは、着信コールを別の番号にリダイレクトできます。コール転送オプションには、不在転送、話中転送、無応答時転送、およびカバレッジなし時転送があります。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> </ul>
コール転送の宛先の無効化	管理者は、Call Forward All (CFA; 不在転送) の転送先が CFA の転送元にコールを発信する場合には CFA を無効にすることができます。この機能により、CFA の転送先は、重要なコールがある場合に CFA の転送元に到達できるようになります。この無効化は、CFA の転送先の電話番号が内部か外部かに関係なく動作します。	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」および「電話番号の概要」の章を参照してください。</p>
コールパーク	<p>コールを保留にして、Cisco Unified Communications Manager システムに接続されている任意のユーザがコールを受信できるようにします。</p> <p> <b>(注)</b> [パーク] ソフトキーを使用している場合は、ダイレクトコールパーク機能を設定しないでください。これは、ユーザが2つのコールパーク機能を混同してしまうのを防ぐためです。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「コールパーク」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「コールパークとダイレクトコールパーク」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
コール ピックアップ	<p>ユーザは、自分のピックアップ グループに属する別の電話機で呼出音が鳴っている場合に、そのコールを自分の電話機にリダイレクトできます。</p> <p>電話機のプライマリ回線に、音声による通知と画面表示による通知のいずれか一方または両方を設定できます。このアラートによって、ピックアップ グループ内でコールの呼び出しがあることが通知されます。</p>	<p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド</i>』の「コール ピックアップ グループ」の章を参照してください。</p>
コール録音	<p>スーパーバイザは、アクティブなコールを録音できます。コールが録音されている間、ユーザには断続音（ビープ音）が聞こえる場合があります。</p>	<p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i>』の「モニタリングと録音」の章を参照してください。</p>
コール待機	<p>最初の着信コールを接続したまま、同じ回線で 2 番目のコールを受信できます。</p>	<p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager システム ガイド</i>』の「電話番号の概要」の章を参照してください。</p>
発信者 ID	<p>発信者の電話番号と名前を表示します。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド</i>』の「電話番号の設定」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager システム ガイド</i>』の「ルートプランの概要」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i>』の「Call Display Restrictions 機能」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
発信者 ID ブロック	ユーザの電話番号または電子メールアドレスが表示されないようにします。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ルートプランの概要」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「電話番号の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「SIP プロファイルの設定」の章</li> </ul>
Cisco Call Back	ユーザは、コール先が通話可能な状態になった場合、Cisco Unified IP Phone 上でコールバック通知を受信できます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「コールバック」の章</li> </ul>
Client matter codes (CMC)  (SCCP 電話機のみ)	コールが特定のクライアント マターに関連するように指定できます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「Client Matter Code」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Client Matter Codes と Forced Authorization Codes」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザは、各参加者を個別に呼び出して、複数の通話相手と同時に話すことができます。会議機能には、会議、参加、C 割り込み、およびミーティングがあります。</li> <li>標準（アドホック）会議では、開催者以外でも参加者を追加または削除できます。また、どの会議参加者でも同じ回線上の 2 つの標準会議を結合できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager システムガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone」および「会議ブリッジ」の章を参照してください。</li> <li>これらの機能を有効にするには、サービスパラメータの [Advance Adhoc Conference] (Cisco Unified Communications Manager の管理ページではデフォルトで無効になっています) を使用します。</li> </ul> <p> (注) ユーザに対し、これらの機能がアクティブであるかどうかを必ず通知してください。</p>
設定可能なコール転送表示	<p>コールの転送時に電話機に表示する情報を指定できます。この情報には、発信者の名前、発信者の電話番号、リダイレクト先の電話番号、および最初にダイヤルされた電話番号を含めることができます。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド</i>』の「電話番号の設定」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager システムガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> </ul>
ダイレクトコールパーク	<p>ユーザは、アクティブなコールを使用可能なダイレクトコールパーク番号に転送できます。[転送] ソフトキーを押してから、ダイレクトコールパーク番号をダイヤルすると、コールが保存されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド</i>』の「コールパークとダイレクトコールパーク」の章を参照してください。</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
直接転送	<p>確立されている2つのコール（保留中または接続済みのコール）を結合し、1つのコールにして、機能を開始したユーザをコールからドロップします。打診コールが開始されたり、アクティブなコールが保留になったりすることはありません。</p>	<p>詳細については、『<i>Cisco Unified Communications Manager システム ガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。</p>
サイレント (DND)	<p>DND をオンにすると、コールが呼び出し状態になっても呼出音が鳴らなくなります。</p> <p>[サイレント] ソフトキーを含むソフトキー テンプレートを使用するように電話機を設定できます。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、次の DND 関連のパラメータを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [サイレント (Do Not Disturb)] : このチェックボックスを使用すると、DND を電話機ごとに有効にすることができます。[デバイス] &gt; [電話] &gt; [電話の設定] を選択します。</li> <li>• [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] : 電話機で DND がアクティブのときに着信コールに対して発生させるアラートのタイプを選択します。このパラメータは、[共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] ウィンドウと [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの両方にあります（[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの値が優先されます）。</li> <li>• BLF ステータスに DND を含める : ビジーまたはアイドル状態を DND ステータスで上書きできます。</li> </ul>	<p>『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i>』の「サイレント」の章</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
エクステンション モビリティ	ユーザは、任意の Cisco Unified IP Phone から各自の電話番号にログインできます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco エクステンション モビリティ」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco エクステンション モビリティ機能 および電話機へのログイン機能」の章</li> </ul>
ファーストダイヤル サービス	ユーザは、ファースト ダイヤル コードを入力してコールを発信できます。ファースト ダイヤル コードは、電話番号または [個人アドレス帳] エントリに割り当てることができます。この表の「サービス」を参照してください。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「IP Phone サービスの設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービス」の章</li> </ul>
Forced Authorization Code (FAC)  (SCCP 電話機の み)	特定のユーザが発信できるコールのタイプを制御します。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「Forced Authorization Code」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Client Matter Codes と Forced Authorization Codes」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
グループのコール ピックアップ	ユーザは、自分のグループまたは他のグループへの着信コールをピックアップできます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「コール ピックアップグループ」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「コール ピックアップグループ」の章</li> </ul>
保留	ユーザは、接続されたコールをアクティブな状態から保留状態に移行できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定は必要ありません。ただし、保留音を使用する場合には必要です。この表の「保留音」を参照してください。</li> <li>また、この表の「保留復帰」も参照してください。</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
保留復帰	<p>コールの保留時間を制限します。制限時間が経過すると、コールは保留にした側の電話機に復帰し、ユーザにアラートが通知されます。</p> <p>復帰コールの通知は、着信コールの場合とは異なり、1回の呼出音（回線の新規コールインジケータの設定によってはビープ音）によって行われます。この通知は、コールが再開されるまで、一定の間隔で繰り返されます。</p> <p>コールが保留復帰した場合は、さらに、コールバブルにアニメーションのアイコンが表示され、ステータス行に簡潔なメッセージが表示されます。</p> <p>コールのフォーカス優先度を着信コールまたは復帰コールのどちらかに設定できます。</p>	<p>この機能の設定方法の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「保留復帰」の章を参照してください。</p>
ハントグループ	<p>主要な電話番号へのコールに対して、ロードシェアリングを行います。ハントグループには、着信コールに回答できる一連の電話番号が含まれています。ハントグループ内の最初の電話番号が話し中の場合、システムは、グループ内で次に使用可能な電話番号を所定の順序で検索して特定し、その電話機にコールを転送します。</p>	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「ハントリストの設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ルートプランの概要」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
即時転送	ユーザは、呼び出し中のコール、接続されたコール、または保留中のコールを、ボイス メッセージ システムに直接転送できます。コールを転送した場合、その回線は新しいコールの発信または受信に使用できるようになります。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i> 』の「即時転送」の章を参照してください。
即時転送（拡張）	ユーザは、着信コールをユーザのボイス メッセージ システムまたは最初の着信側のボイス メッセージ システムに直接転送できます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager システム ガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i>』の「コールパークとダイレクトコールパーク」の章</li> </ul>
参加 (SCCP 電話機のみ)	<p>ユーザは、<b>[参加]</b> ソフトキーを使用してアドホック会議を開始できます。</p> <p>参加機能によって、打診コールが作成されたり、アクティブなコールが保留になったりすることはありません。参加機能では、3つ以上のコールを含めることができます。この場合、1つのコールに4者以上が参加します。</p>	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager システム ガイド</i> 』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。
ハントグループからのログアウト	ユーザは、コールを受けることができない場合に、ハントグループからログアウトし、一時的にユーザの電話機で呼出音が鳴らないようにすることができます。ハントグループからログアウトしても、ハントグループ以外のコールでは、引き続き電話機で呼出音が鳴ります。	<p>参照先</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><a href="#">P.5-24の「ソフトキー テンプレートの設定」</a>を参照してください。</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager システム ガイド</i>』の「ルートプランの概要」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
迷惑呼 ID (MCID) (SCCP 電話機のみ)	ネットワークに着信するコールの発信元を識別および登録するように Cisco Unified Communications Manager に要求して、悪意のあるコールを報告できます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「迷惑呼 ID」の章</li> </ul>
ミーティング会議	他の発信者が会議に参加できます。	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「ミーティング番号 / パターンの設定」および「会議ブリッジの設定」の章を参照してください。</p>
メッセージ受信	ユーザ宛ての到着ボイス メッセージが 1 つ以上あることを通知します。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「メッセージ受信の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」の章</li> </ul>
モバイルコネク	ユーザは、1 つの電話番号を使用してビジネス コールを管理することや、デスクトップ電話機および携帯電話で進行中のコールをピックアップすることができます。	<p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「モバイルコネクとモバイルボイスアクセス」の章を参照してください。</p>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
モバイル ボイス アクセス	モバイル コネクト機能が拡張され、ユーザは Interactive Voice Response (IVR; 自動音声応答) システムにアクセスして、携帯電話などのリモート デバイスからコールを発信できるようになります。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i> 』の「モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセス」の章を参照してください。
Multilevel Precedence and Preemption (MLPP)  (SCCP 電話機の み)	適切に検証されたユーザは、プライオリティ コールを発信できます。必要に応じて、プライオリティの低い電話コールよりも高い優先順位を獲得できます。優先権を持つコールの転送には、Call Forward Alternate Party (CFAP) 機能を使用することもできます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i> 』の「Multilevel Precedence and Preemption」の章を参照してください。
保留音	発信者が保留状態になっている間、音楽を再生します。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド</i>』の「保留音オーディオ ソースの設定」および「保留音サーバの設定」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager システム ガイド</i>』の「保留音」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド</i>』の「保留音」の章</li> </ul>
オンフック コール 転送	ユーザは、[転送] ソフトキーを 1 回押すだけで電話機をオンフックにして、コール転送を完了できます。	『 <i>Cisco Unified Communications Manager システム ガイド</i> 』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
他のグループのピックアップ	ユーザは、ユーザのグループに関連付けられている別のグループの電話機で呼出音が鳴っている場合に、そのコールに応答できます。この表の「コールピックアップ」および「グループのコールピックアップ」も参照してください。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「コールピックアップグループ」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「コールピックアップグループ」の章</li> </ul>
Private Line Automated Ringdown (PLAR)	Cisco Unified Communications Manager の管理者は、ハンドセットをオフフックにすると Cisco Unified IP Phone がただちにダイヤルする電話番号を設定できます。この機能は、緊急連絡や「ホットライン」の番号にコールするための電話機を用意する場合に役立ちます。	PLAR を設定する方法については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド Release 6.1』の「ダイヤルルールの概要」の章を参照してください。
プライバシー	回線を共有しているユーザが、コールに自分を追加すること、および他のユーザのコールに関する情報を電話スクリーンに表示することを禁止します。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「割り込みとプライバシー」の章</li> </ul>

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
Quality Reporting Tool (QRT)	ユーザは、電話機の [品質] ソフトキーを使用して、問題のあるコールに関する情報を送信することができます。QRT は、QRT に必要なユーザ インタラクションの量に応じて、2つのユーザ モードのどちらかに設定できます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Quality Report Tool」の章</li> </ul>
リダイヤル	Cisco Unified IP Phone で直近にダイヤルされた番号をリダイヤルします。	設定は必要ありません。
呼出音設定	電話機に別のアクティブ コールが到着したときに、回線で使用される呼出音タイプを指定します。	詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「電話番号の設定」の章を参照してください。
セキュアな会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュアな電話機から、セキュアな会議ブリッジを使用して会議コールを発信することができます。</li> <li>[会議]、[参加]、[C 割込]、[割込み] ソフトキーまたはミートミー会議を使用して新しい参加者を追加した場合、すべての参加者がセキュアな電話機を使用しているときは、セキュア コール アイコンが表示されます。</li> <li>会議リストには、会議参加者それぞれのセキュリティ レベルが表示されます。開催者は、会議リストから非セキュアな参加者を削除できます（[AdvanceAdhocConference] パラメータが設定されている場合は、開催者以外でも会議参加者を追加または削除できます）。</li> </ul>	<p>セキュリティの詳細については、「サポートされているセキュリティ機能の概要」の項を参照してください。</p> <p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「会議ブリッジ」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「会議ブリッジの設定」の章</li> <li>Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド</li> </ul>

## Cisco Unified IP Phone で使用可能なテレフォニー機能

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
サービス	Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [IP Phone サービスの設定 (IP Phone Services Configuration)] メニューを使用して、ユーザが登録できる電話サービスのリストを定義および管理できます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『<i>Cisco Unified Communications Manager システムガイド</i>』の「Cisco Unified IP Phone サービス」の章</li> </ul>
サービス URL ボタン	情報サービスにワンタッチでアクセスできます。	設定の手順については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド</i> 』を参照してください。
シェアドライン	ユーザは、複数の電話機で同じ電話番号を共有したり、電話番号を同僚と共有したりできます。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager システムガイド</i> 』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。
サイレントモニタリング	スーパーバイザは、通話者に気づかれずに、アクティブなコールを録音できます。スーパーバイザの音声は、コールのどちら側の通話者にも聞こえません。コールがモニタされている間、ユーザには断続音（ビーブ音）が聞こえる場合があります。	詳細については、『 <i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド</i> 』の「モニタリングと録音」の章を参照してください。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
ワンボタン割り込み	ユーザは、回線キーを押すことで、リモートで使用中のコールに対して割り込みまたは C 割り込みを行うことができます。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「割り込みとプライバシー」の章</li> </ul>
短縮ダイヤル	記憶されている指定番号をダイヤルします。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章</li> </ul>
Time-of-Day ルーティング	指定したテレフォニー機能へのアクセスを時間帯によって制限します。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「時間帯の設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Time-of-Day ルーティング」の章</li> </ul>
転送	アクティブなコールを別の電話番号に転送します。	設定は必要ありません。

表 5-1 Cisco Unified IP Phone のテレフォニー機能（続き）

機能	説明	設定の参照先
ボイス メッセージシステム	コールに応答がない場合に、発信者がボイス メッセージを残せるようにします。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco ボイスメールポートの設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」の章</li> </ul>
ビデオ モード (7911G のみ)	ユーザは、システムに設定されているモードに応じて、ビデオ会議を表示するためのビデオ表示モードを選択できます。	<p>参照先：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「会議ブリッジの設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ビデオテレフォニーの概要」の章</li> </ul>
ビデオ サポート (7911G のみ)	電話機でビデオ サポートを有効にします。	<p>詳細については、次のマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「会議ブリッジの設定」の章</li> <li>『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ビデオテレフォニーの概要」の章</li> <li>『Cisco VT Advantage アドミニストレーションガイド』の「Cisco VT Advantage の概要」の章</li> </ul>

## 社内ディレクトリとパーソナル ディレクトリの設定

Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G では、ユーザは [ディレクトリ] メニューを使用していくつかのディレクトリにアクセスできます。このディレクトリには次のものがあります。

- 社内ディレクトリ：ユーザが、同僚の電話番号を調べることができます。  
この機能をサポートするには、社内ディレクトリを設定する必要があります。詳細については、[P.5-21](#) の「[社内ディレクトリの設定](#)」を参照してください。
- パーソナルディレクトリ：ユーザが、一連の個人の番号を保存できます。  
この機能をサポートするには、パーソナルディレクトリを設定するためのソフトウェアをユーザに提供する必要があります。詳細については、[P.5-22](#) の「[パーソナルディレクトリの設定](#)」を参照してください。

LDAP ディレクトリの設定が完了すると、ユーザは Cisco Unified IP Phone で社内ディレクトリ サービスを使用して、社内ディレクトリでユーザを検索できるようになります。

## 社内ディレクトリの設定

Cisco Unified Communications Manager では、Cisco Unified Communications Manager と連動する Cisco Unified Communications Manager アプリケーションのユーザの認証情報と認可情報を保存するために、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリを使用しています。認証とは、ユーザがシステムにアクセスする権利を確立することです。認可とは、ユーザが使用を許可されるテレフォニーリソース、たとえば特定の電話内線などを識別することです。

これらの機能をインストールおよび設定するには、『*Cisco Customer Directory Configuration Plugin インストールガイド*』を参照してください。このマニュアルでは、Cisco Unified Communications Manager を Microsoft Active Directory および Netscape Directory Server と統合するための設定プロセスについて説明しています。

LDAP ディレクトリの設定が完了すると、ユーザは Cisco Unified IP Phone で社内ディレクトリ サービスを使用して、社内ディレクトリでユーザを検索できるようになります。

## パーソナル ディレクトリの設定

パーソナル ディレクトリは、次の機能で構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- 個人ファーストダイヤル (ファーストダイヤル)
- Address Book Synchronizer ユーティリティ

パーソナル ディレクトリを Web ブラウザから設定するには、ユーザが自分の Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。管理者は、ユーザに対して URL とログイン情報を提供する必要があります。

Microsoft Outlook と同期化するには、管理者から提供される Cisco Unified IP Phone Address Book Synchronizer ユーティリティをユーザがインストールする必要があります。ユーザに配布するこのソフトウェアを入手するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [アプリケーション] > [プラグイン] を選択し、[Cisco Unified IP Phone Address Book Synchronizer] を見つけてクリックします。

## 電話ボタン テンプレートの変更

電話ボタン テンプレートを使用すると、電話ボタンに機能を割り当てることができます。Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G の場合、テンプレートで設定できるのはプライバシー機能（[ヒツウチ] ソフトキー）のみです。

テンプレートの変更は、可能な限り電話機をネットワークに登録する前に行ってください。この順序に従うと、登録の実行中、カスタマイズした電話ボタン テンプレート オプションに Cisco Unified Communications Manager からアクセスできます。

電話ボタン テンプレートを変更するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス] > [デバイスの設定] > [電話ボタンテンプレート] を選択します。電話ボタン テンプレートを電話機に割り当てるには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウにある [電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] フィールドを使用します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』を参照してください。

## ソフトキー テンプレートの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G でサポートされているアプリケーションに関連付けられたソフトキーを管理できます。Cisco Unified Communications Manager では、標準と非標準という2タイプのソフトキーテンプレートをサポートしています。標準ソフトキーテンプレートには、Standard User および Standard Feature が含まれています。ソフトキーをサポートするアプリケーションには、標準ソフトキーテンプレートを1つ以上関連付けることができます。標準ソフトキーテンプレートを修正するには、テンプレートのコピーを作成し、新しい名前を付けて、そのコピーしたソフトキーテンプレートをアップデートします。非標準のソフトキーテンプレートも修正できます。

標準ソフトキーテンプレートを使用することをお勧めします。このテンプレートでは、プログラム可能なボタンにすでに割り当てられている機能は除外され、使用頻度の高い機能セットだけが定義されています。電話機に同時に表示されるソフトキーの数が少なくなるため、ユーザが **[次へ]** ソフトキーを押す必要はなくなります。詳細については、**P.5-23** の「**電話ボタン テンプレートの変更**」を参照してください。

ソフトキーテンプレートを設定するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、**[デバイス]** > **[デバイスの設定]** > **[ソフトキーテンプレート]** を選択します。ソフトキーテンプレートを電話機に割り当てるには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの **[電話の設定 (Phone Configuration)]** ページにある **[ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]** フィールドを使用します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』を参照してください。

## サービスのセットアップ

ユーザは、Cisco Unified IP Phone のサービス ボタンを使用して Cisco Unified IP Phone のサービスにアクセスできます。これらのサービスは、テキストと画像によるインタラクティブ コンテンツを電話機に表示するための XML アプリケーションを構成しています。サービスの例としては、映画の上映時刻、株式相場、天気予報などがあります。

ユーザがサービスにアクセスできるようにするには、次の作業が必要です。

- 管理者が Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、使用可能なサービスを設定する必要があります。
- ユーザは、Cisco Unified IP Phone のユーザ オプション ページを使用して、サービスに登録する必要があります。この Web ベース アプリケーションは、IP Phone のアプリケーションをエンドユーザが設定するための限定的なグラフィカルユーザインターフェイス (GUI) を提供します。

サービスをセットアップする前に、セットアップするサイトの URL をあらかじめ収集し、それらのサイトにユーザが社内の IP テレフォニー ネットワークからアクセスできることを確認しておきます。

これらのサービスをセットアップするには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス] > [デバイスの設定] > [IP Phone サービス] を選択します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』および『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』を参照してください。

これらのサービスを設定した後、Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ベース アプリケーションにユーザがアクセスできることを確認します。ユーザは、設定済みのサービスをこのアプリケーションで選択し、サービスに登録することができます。エンドユーザに提供する必要のある情報の要約については、P.A-4 の「サービスへの登録方法および電話機能の設定方法」を参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加

ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加すると、ディレクトリ情報やパスワードなど、ユーザに関する情報を表示および管理できるようになります。



(注)

LDAP ディレクトリ ユーザのパスワード ルールを管理するには、Cisco Unified Communications Manager と統合されたディレクトリ サーバ アプリケーションを使用して、パスワードの有効期限と構文を設定します。サポートされているディレクトリ サーバの詳細およびリストについては、『*Cisco Customer Directory Configuration Plugin インストレーションガイド*』を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager に追加されたユーザは、次の操作を実行できます。

- Cisco Unified IP Phone から、社内ディレクトリや他のカスタマイズ済みディレクトリにアクセスする。
- パーソナルディレクトリを作成する。
- 短縮ダイヤルとコール転送の番号をセットアップする。
- Cisco Unified IP Phone からアクセスできるサービスに登録する。

ユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ユーザを 1 名ずつ追加するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[ユーザ管理] > [エンドユーザ] を選択します。

ユーザの追加方法の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』を参照してください。ユーザ情報の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』を参照してください。

- ユーザを一括して追加するには、一括管理ツール (BAT) を使用します。この方法では、すべてのユーザに対して同一のデフォルト パスワードを設定することもできます。

詳細については、『*Bulk Administration Tool ユーザ ガイド for Cisco Unified Communications Manager*』を参照してください。

詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration ガイド*』を参照してください。

## ユーザ オプション Web ページの管理

ユーザ オプション Web ページでは、電話機のいくつかの機能や設定値をユーザがカスタマイズおよび制御できます。ユーザ オプション Web ページの詳細については、『*Cisco Unified IP Phone 7906G/7911G 電話ガイド*』を参照してください。

## ユーザ オプション Web ページへのユーザ アクセスの有効化

ユーザがユーザ オプション Web ページにアクセスできるようにするには、管理者が Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、ユーザを標準 Cisco Unified Communications Manager エンドユーザグループに追加しておく必要があります。ユーザを追加するには、[ユーザ管理] > [ユーザグループ] を選択します。

詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド*』の「ユーザグループの設定」の章
- 『*Cisco Unified Communications Manager システムガイド*』の「権限とユーザグループ」の章

## ユーザ オプション Web ページに表示するオプションの指定

ユーザ オプション Web ページには、デフォルトではほとんどのオプションが表示されます。ただし、次のオプションは、システム管理者が Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] の設定値を使用して設定する必要があります。

- Show Ring Settings

- Show Line Text Label Settings
- Show Call Forwarding



(注)

この設定値は、サイトのすべてのユーザ オプション Web ページに適用されます。

ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションを変更するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[システム] > [エンタープライズパラメータ] を選択します。

[エンタープライズパラメータ設定 (Enterprise Parameters Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** [CCMUser Parameters] 領域で、各パラメータ値のドロップダウン リストボックスから次のいずれかの値を選択し、パラメータをユーザ オプション Web ページに表示するかどうかを指定します。

- **True**: オプションをユーザ オプション Web ページに表示する (デフォルト)。
- **False** : オプションをユーザ オプション Web ページに表示しない。
- **Show All Settings**: コール転送のすべての設定をユーザ オプション Web ページに表示する (デフォルト)。
- **Hide All Settings** : コール転送の設定をユーザ オプション Web ページに表示しない。
- **Show Only Forward All** : 不在転送の設定だけをユーザ オプション Web ページに表示する。